

# 令和7年度 事業計画

## 1 基本方針

我が国は人口減少、少子高齢化が進み令和5年10月1日現在、65歳以上人口は3,623万人となり、高齢化率は29.1%となっています。

一方で令和6年版高齢社会白書によると、エイジレスに働ける社会の実現に向けて、70歳までの定年引上げ、70歳までの継続雇用制度の導入等、環境整備が図られています。

そのような中、若狭シルバー人材センターとしても会員を拡大し、地域高齢者の生き甲斐ある生活の実現、就業機会の確保に取り組んでいきます。

また、デジタル化推進に向けた取り組みを含め、業務の効率化を図っていきます。

安全就業の面におきましては、就業中の慣れによる油断や過信による事故が発生していることから、研修・講習等を通じて安全の啓発に努めるとともに、定期的な安全パトロールの実施により安全・適正就業を徹底していきます。

運営面におきましては、昨年11月に施行されたフリーランス法に対応するために包括的契約方式へ今年度から移行します。また、物価上昇による厳しい状況が続きますが、引き続き効率的な運営、経費の節減に努めていきます。

## 2 事業実施計画

### (1) 会員の拡大

ア 会員数については増加傾向にありますが、さらなる拡大に向けて普及啓発活動を行っていきます。

イ 会員の入会説明会を月1回行います。

ウ 会員を通じての新規入会者の促進を図ります。

エ 市町の広報やCATV等の活用、チラシ配布を実施して新規会員の募集を行います。

オ 関係機関と連携して新規入会者を発掘します。

カ WEBによる入会システムの導入を検討します。

## (2) 就業機会の開拓と拡大

ア 新規開拓はもとより、受注先の要望や就業形態に応じて受託事業、派遣事業の区別を行い、就業機会の提供を行っていきます。

イ 正会員や賛助会員・役員等を通じて就業機会の開拓と拡大を図ります。

ウ WEBによる受注機会の確保を検討します。

## (3) 普及啓発の推進

ア 広報「わかさ」を年1回、構成市町の全戸に配布します。

イ ホームページで最新の情報を発信します。

ウ 市町の広報やCATV等を通じて、会員の募集や情報を発信します。

エ 市町の量販店等において、啓発やPR活動を実施します。

オ 正会員向けに、シルバー通信を年4回発行します。

カ ボランティア活動を行い、啓発やPR活動を実施します。

## (4) 労働者派遣事業の推進

ア 会員のニーズに合ったマッチングを勧めていきます。

イ 働き方の選択肢を増やすため、県SCと連携し現在派遣事業として指定を受けている業種の拡大を目指します。

ウ トラブルや苦情が発生した際に迅速に対応していきます。

エ 派遣事業に携わる会員の資質向上のため、県SCが実施する研修等に参加します。

## (5) 安全・適正就業の推進

- ア 安全・適正就業委員会を適宜開催します。
- イ 屋外での作業が忙しくなる時期に事故の防止と安全意識の向上を図るため、定期的に安全パトロールを実施します。
- ウ シルバー通信を通じて、安全・適正就業の啓発を図ります。
- エ 会員の作業時の身の安全を守るため、使用期限が経過したヘルメットや墜落制止用器具の交換を指導します。
- オ 会員の作業事故や交通事故を未然に防止するため、それぞれの目的に合った研修会や講習会を実施します。
- カ 作業上での注意事項として看板の設置やヘルメットの装着・墜落制止用器具の着用等の徹底に努めます。
- キ 草刈等で発生する物損事故を防止するため、現場での養生確認を行います。
- ク 会員がセンターの所有車及び車両借上げによる運転の場合、前後において飲酒のチェックを励行していきます。
- ケ 引き受けた業務を確実に遂行するため、会員一人ひとりが健康管理に努めます。
- コ 会員と役職員が、お互い安全・安心の意識向上に努めます。

## (6) 運営の充実と安定化

- ア 効率的な財政運営に努めていきます。
- イ 構成市町からの継続的かつ適正規模の補助を要望します。
- ウ 賛助会員の拡大を図り、賛助会費の増額に繋がります。
- エ 貸し倒れが発生しないよう受注事業の精査を行います。
- オ デジタル化の推進による経費の削減に努めていきます。
- カ 除草、剪定作業における配分金単価について、現在の時間単価から面積や樹高等による単価への見直しについて検討していきます。

#### (7) 組織活動の活性化

- ア 職群班や各部会会議、各委員会活動等を計画的に実施し、組織の活性化を図ります。
- イ 各種同好会の活動により、会員相互の融合と連帯意識の高揚に繋がります。
- ウ 各種情報や緊急を要する案件を会員に提供するため、スマイルトゥスマイルの普及を推進、また会員の携帯電話へのショートメールサービスの活用をしていきます。

#### (8) 各種講習会の実施

- ア 草刈・剪定の安全講習会を実施します。
- イ 各種機械器具の取り扱い講習会を実施します。
- ウ 会員向けの交通安全講習会や請負・派遣事業におけるドライバーの講習会を実施します。
- エ 筆耕の勉強会等、各種講習会を実施します。
- オ 健康体操等、心身のリフレッシュ療法による講習会を実施します。

#### (9) 事務局体制の効率化

- ア 引き続き、備品・消耗品の適切な管理に努めます。
- イ 別館作業所の管理体制において、閑散期(12月～2月)は、管理人を配置せず、事務局職員で対応します。また、一部の時間帯は会員に委託します。
- ウ 事務的に改革できる部分は、今後も進めてまいります。

#### (10) 独自事業の推進

- ア 花水木は、引き続き「喫茶」の運営を行い、「いきいき農園」で栽培しております黒ニンニクや焼き芋の販売、イベント時に焼き鳥の販売も行っており、協力していきます。
- イ バザールショップは、引き続き地域の身近なリサイクルショップと

しての営業を支援します。

ウ 障子の張り替えや、刃物研ぎの事業も継続して運営するとともに、業務に当たる会員の確保及び後継者の育成に努めていきます。

エ わかさシルバーフェアを継続して開催予定で、交流を図ります。

(11)「ふくい元気・シルバーフェスタ」への参加

毎年10月のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間に開催されるシルバーフェスタは本年度、大野市で開催予定です。積極的に参加します。

|     |              |
|-----|--------------|
| 日 時 | 令和7年10月4日（土） |
|-----|--------------|

|     |        |
|-----|--------|
| 場 所 | 大野有終会館 |
|-----|--------|